

第二保育所 主任保育士 根本 啓太 先生

僕が高校生のとき、自身が通っていた保育園の園バスとすれ違ったことがありました。その際、男性園長先生が笑顔で手を振り見せてくれた「笑いジワいっぱい笑顔」。すごく印象的で、そのことがきっかけで自分もその方のように素敵に年を取りたいと思うようになり、保育士の道を選ぶことを決めました。

保育所で出会った子どもはみんな「家族」だと思って接しています。長い月日を

一緒に過ごし、修了の日を迎えることは寂しい気持ちもあります。ただ、保育所を巣立っていった子どもたちのことは、その後も気になりますし、変わらずにずっと大切に想っています。

男性保育士として、力仕事や交通整理、虫退治などは率先してやります。今は男性が1人だけですが、これから仲間が増える日を楽しみにしています。芝山町の男子諸君！保育士は素敵なお仕事ですよ。



「愛されキャラ全開、唯一の男性保育士として奮闘中」



【第二保育所】

- ⑥⑦七夕集会(短冊に願いを込める、お願い事で盛り上がる様子)
- ⑧近所にお散歩(3歳児)
- ⑨根本先生をおしゃれに(3・4歳児)
- ⑩大好き米澤先生と一緒に(3歳児)

第二保育所 保育士(新規採用) 米澤 郁 先生

私は、幼い頃から自身が通っていた保育所の大好きな先生に憧れるとともに、弟や年下の従兄弟の面倒を見ることに楽しさを感じていました。当時の保育所で過ごす時間が楽しかったのは、保育所の先生方のおかげです。また、お手伝いをするとたくさん褒めてもらえたことに何とも言えない嬉しさを感じるようになり、自分も保育士を目指すきっかけとなりました。

配属されて早4カ月。子どもたちの想像

力と日々の成長からさまざまなことを学ぶ充実した毎日。遊びを通して子どもなりに工夫している場面を見かけると「大人にはない発想」がたくさんあることにも気付かされます。

これからも、日々の生活や遊び、さまざまな行事など一つ一つのことを一緒に楽しみながら、子どもの気持ちに寄り添い、同じ立場から物事を考えられる保育士になれるように頑張っていきたいです。



「実は体育会系、鬼ごっこは絶対に負けません」

Interview



第一保育所 主任保育士 佐々木 明美 先生

保育士は、保護者の皆さんとしっかりとコミュニケーションを取りながら、子どもたちの心身ともに健やかな成長を支援することがお仕事です。そのために、常に穏やかな気持ちでいることや、子どもたちだけでなく保護者の皆さんにも笑顔で挨拶することを大切にしています。

ちなみに、私のモットーは「明るく、元気に、おもしろく、そして笑顔で接す

る」。これは、新任保育士のときから今も変わらずに意識していることです。

芝山町の子どもたちは、自然いっぱいの中でゆったりとした環境の中でたくさんの愛情を受けて育っています。どの子どものびのびとしていて素直で明るく、元気いっぱい。これからも大切な子どもたちに寄り添いながら、精いっぱいその成長を支えていきます。

「元気でパワフル、第一保育所のムードメーカー」



【第一保育所】

- ① 佐々木先生と遊ぶ1・2歳児
- ②③ 歯磨き教室(4・5歳児)
- ④ スイカ割りをしたよ(5歳児)
- ⑤ 1歳児用に食材の刻み作業をする 齋藤さん



Interview



第一保育所 用務員 齋藤 初子 さん

用務員という仕事は、給食やおやつを提供について感染症などの流行に細心の注意を払わなければなりません。特に、衛生管理の徹底に関しては職員全員で協力することがとても大切。日々意識しながら取り組んでいます。

第一保育所で一番人気のおやつは、手作り「きな粉マシュマロフレーク」です。甘くてサクサクとした食感が子どもたちにと

ても好評で「もっと欲しい!」という声がたくさん寄せられる、みんなが大好きな一品です。

子どもたちは「芝山町の将来を担う宝物」だと思っています。食から子どもの成長を支える立場としては、毎日朝ご飯を欠かさず、給食も好き嫌いせずに残すことなく食べてもらい、たくさん運動をして心身ともに大きく健やかに成長してほしいです。

「楽しいおやつで、食から子どもたちを支えます」